

平成28年度 日比谷高校《グローバル通信》

東京都教育委員会指定

東京グローバル10

日比谷高校は昨年度より東京都教育委員会から「東京グローバル10」の指定を受けています。今年度もグローバル・リーダーの育成のためにさまざまな活動を行っていきます。

◎グローバル委員会発足

今年度も生徒によるグローバル委員会が発足しました。5月に実施した委員会で、あらたに委員長・副委員長・書記が選出されました。今年度もさまざまな事業の運営に積極的に参加してくれるはずです。

◎東京医科歯科大学 SGU スーパーグローバル大学創成支援事業

……Global Communication Workshop 2016 への参加……

東京医科歯科大学では、スーパーグローバル大学創成支援事業の一環として、毎年新入生を対象とした国際医療問題に関する英語模擬交渉ワークショップを開催しています(例年全学部学科より150名程が参加)。今年度も5月～6月にかけて、日比谷高校の生徒12名が、このグローバルコミュニケーションワークショップに参加しました。このワークショップを通じて、将来医療分野においてグローバルな舞台で活躍するために必要な、語学力およびそれ以上に大切な多くのスキルについての理解を深めることができます。



【参加生徒の感想から】

- ・物事を様々な角度から考えて、主張の違うグループのどちらもが納得するより良い方法を考えることがとても楽しかった。
- ・英語で自分の意見を相手に伝え、自分の主張と相手の主張を合わせてより良い結論に導くことは想像以上に難しく、苦労したが、とてもいい経験になった。

◎海外派遣研修プレゼン検討会

6月17日(金)に、海外派遣研修予定生徒12名が、本校一般生徒に対してプレゼンテーションを行いました。初めてのプレゼンテーションということで緊張も見られましたが、参加生徒やJETからの質問に真摯な姿で答える姿が印象的でした。また、プレゼンテーション全体について、その内容はもちろん、ビジュアルエイド(視覚教材)の作り方やアティテュード(態度)など様々な角度から考え直す貴重な機会となりました。



◎講演会「国際会議を切り回す」

6月27日(月)に、本校OBで、さまざまな国際会議を経験されてきた関成孝さんをお招きして講演会を実施しました。国際会議というものがどのような形態・目的で行われ、その舞台裏はどうなっているのかということについてお話しいただきました。また、ご自身の留学体験から得たものなどもお話しいただき、参加生徒たちは大いに刺



激を受けました。

【参加生徒の感想から】

- ・「自分でやりたいことを見つけ、組み立てていく」という言葉がとても心に残りました。
- ・実際に会議を経験された方から話を聞けたということがとてもよかった。

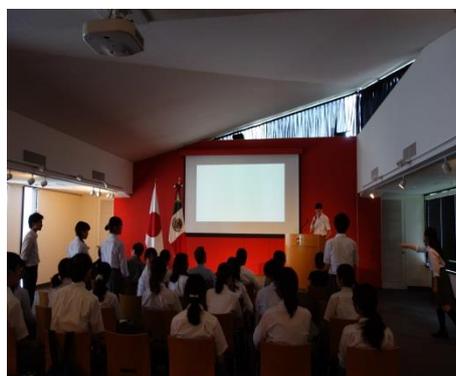
◎ニュージーランド大使館訪問

7月12日(火)に、海外派遣研修参加予定生徒12名がニュージーランド大使館を訪問しました。ニュージーランドの農業方針に関し、キャロリン氏より講義を頂きました。ニュージーランドでは、政府が農業の魅力をアピールしたり、技術援助・資金援助を行い、後継者を育成しますが、その後は自立してもらい、補助金は用いないとのこと。世界の農業を考えるうえで、多くの示唆を頂き、さらにグローバル課題の勉強が楽しくなりました。



◎メキシコ大使館訪問

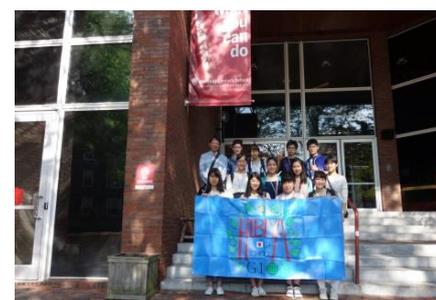
8月9日(火)に、海外派遣研修参加予定生徒12名及び一般生徒16名がメキシコ大使館を訪問しました。昨年に引き続き、G10メンバーのプレゼンテーションを聴いていただき、その後に、メキシコと日本の貿易関係などをコルテス公使より講義を頂き、長い時間を費やし、質疑応答をしていただきました。最後に、オーケストラ部による演奏をしましたが、これを契機に、日比谷との部活交流も盛んになりそうです。10月13日(木)には、弓道部の活動にお招きしました。



ゴメス・ルエダ公使

◎平成28年度グローバルリーダー育成海外研修「ボストン・ニューヨーク海外研修」

本校のグローバル事業の大きな柱であるグローバルリーダー育成海外研修「ボストン・ニューヨーク海外研修」が8月19日～26日にかけて行われました。今年度も、米国のアスペン研究所において専門家に対して《地球的規模の食料問題の解決策》について提言することを大きな目標に掲げ、12名の生徒たちは約二カ月の間、様々な事前学習、事前研修を経て、この海外研修に臨みました。そしてボストンとニューヨークにおいて様々な体験を経て、大きな成果を上げて帰国しました。今後、この海外派遣研修は、来年度以降も継続されていきます。



主な行程・内容

.....ボストン.....

・ハーバード大学訪問

今年はハーバード大学大学院ケネディ・スクールに在籍する日本人の方にキャンパスを案内していただき、大学院での授業や生活の様子などをお話しいただきました。

・MITマサチューセッツ工科大学訪問

大学院SDMシステムデザインマネジメントで教鞭をとられ、一方でベンチャー企業の社長でもあるブライアン・モーサー博士による「リーダー論」の授業を受けました。また、MITジャパン・プログラムを担当されているクリスティン・ピルカベージ教授とのセッションも設けられ、現地の大学生とも交流しました。



・米国建国の歴史のアクティブラーニング

事前学習を踏まえた班別行動として、ボストンの街を一日めぐりました。フリーダムトレイルやクインシーマーケットなどをはじめとして、班によっては美術館なども訪れ、充実した一日となりました。



.....ニューヨーク.....

・ニューヨーク連邦準備銀行訪問

米国の金融システムとFRBの役割の学習、施設見学

・アメリカ現代史の学習

World Trade Center & Tribute Center 見学

・国際連合本部見学

総会場、安全保障理事会、信託統治評議会、ECOSOC等会議等見学

・UNISマンハッタン校教諭による講義

国際バカロレアに対応したカリキュラム、国連職員の生活についての講義

・アスペン研究所での研修・プレゼンテーション

2つのグループに分かれ、食料問題の解決についてプレゼンテーションを行いました。それぞれのグループごとに、専門家から細かいコメントがなされ、疑問点については質問を受けました。これまでの準備の甲斐もあって、非常に充実した時間を過ごすことができ、研修参加者12名全員が大きく成長しました。



◎ケンブリッジ英語検定の実施について

今年度より東京グローバル10の新規事業の一つとして、「外部検定試験補助」が行われることになりました。この施策を利用して、日比谷高校では1・2年生を対象にケンブリッジ英語検定を実施することが決定しました。CEFRに完全準拠した検定を受けることにより、グローバル社会で求められる英語力について認識し、4技能の伸長を図るように日々の学習へのフィードバックをしていくことが目的です。**2年生は12月、1年生は3月に実施します。**

<CEFRとは?>

「ヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference for Languages)」は、言語の枠や国境を越えて、異なる試験を相互に比較することができる国際標準です。以下のサイトの説明がわかり易いので参照してみてください。

<https://www.britishcouncil.jp/sites/default/files/pro-ee-lesson-level-cefr-jp.pdf>